

topic
1

スウェーデン研修旅行

—教育・保育・環境の先進国を訪ねて—

スウェーデン研修旅行は住居学科、児童学科、教育学科の3学科
合同で毎年春季に開催される、大学公認の海外短期研修プログラム
です。教育・保育・環境の先進国であるスウェーデンを訪れ北欧最
古のウプサラ大学の最先端の研究や設備、また小学校や保育園、自
然学校を見学し、先生方や学生、また子供たちとの交流を行います。

参加した学生からの報告

2019年3月に8日間の日程でスウェーデンのストックホルム、ウプサ
ラを訪ねました。学校施設や歴史的建造物の見学を通じ、福祉国家として
知られる国の教育・文化について理解を深めました。

通訳の方を通じた見学だけでなく、現地学生と英語を交えて会話する
機会があったこと、また住居・児童・教育の3学科合同研修だったことで、
主体的に多視点から気づきを得ることができました。ノーベル賞晩餐会が
行われるストックホルム市庁舎をはじめ、現在も使われている歴史的な建
築物が市内に多く存在し、歴史や文化の変化を身近に感じられました。

事前に各学科の先生方との勉強会を行い、知識をつけた上で現地を見
学できたことは、この研修の大きな魅力の一つだと思います。

定行研究室 修士2年 柘植美結

旅行の
日程
2019
3/23
~
3/30

Day	City
1	東京
2	ストックホルム
3	ストックホルム
4	ウプサラ
5	ウプサラ
6	ウプサラ
7	ウプサラ
8	東京



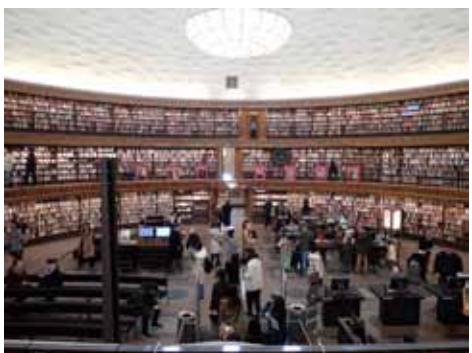
市庁舎



ウプサラ大聖堂



就学前学校



市立図書館



ウプサラ大学



ウプサラ大学の学生たちと交流

2019年10月19日～10月20日に開催された第66回 目白祭（大学文化祭）
住居学科学生が中心となって結成された有志団体の展示の様子をご紹介します！

topic
2

ふらっとひろば「まちをつくろう」

住居学科有志 代表 森由樹子

2019年度文化祭に、住居学科の有志学生団体が「ふらっとひろば」という企画で参加しました。本企画は昨年度の文化祭にて立ち上がったもので、コンセプトは引き継ぎつつ、今年は【まちをつくろう】という新テーマを設けました。

「ふらっとひろば」は人々が「ふらっと」立ち寄り、何も無い“flat”なところから空間を作るというコンセプトから名付けられ、模型材料を使った工作を軸にしています。設立のきっかけは、普段の課題で空間や人と人の繋がりを設計しても実践する機会が無いことでした。人の繋がりを作るという課題は、一方的に導くのではなく来場者と一緒に作る／作品が付け足されることで連鎖的に変化することで実現しました。

昨年の文化祭では「子供と過ごせるので重宝する」という声を多くいただき、実際に参加者のほとんどがお子さんでした。文化祭の空間として親子が過ごせる場所は重要だと考え、今年は一層子供が興味をもって取り組めるものにしたい、また自由度は保ちつつ作品の連鎖性を高めたいと、メンバーと話し合いを重ねました。

そこで選定したのが「まちをつくろう」という新テーマです。街は多くの人が携わって建設される連鎖的空間の最たるものであり、自分の街や暮らしに思いを巡らせるきっかけにもなるのではないかと思います。

当日は建物、植栽などを模型材料で作ってもらい、それらを繋ぐように道や線路ができるという流れで、2日間かけて大きく街が広がりました。建物内の家具や人、インフラや街に何気なくある設備などを細かく作ってくれるお子さんが多く、狙い通り皆様の街に対する認識や観察力を可視化して実感できるものになりました。長時間滞在していただいたり、学生も作品を加えるなど、多くの方が参加して楽しめた企画になったと思います。作品の様子はTwitterで発信し、街が発展していく過程を連続的に見られるようにしました。また来場者アンケートでも嬉しいお言葉を複数いただきました。



今回の新しいテーマにより、私たちが空間や人の繋がりとという観点、または企画の運営という観点から発見がありました。この経験が様々な活動に発展していけばいいなと思います。

◀こちらのQRコードから企画の様子を発信したTwitterアカウントをご覧ください

